



# キュービーネットホールディングス株式会社

2023年6月期 第1四半期 決算説明資料

2022年11月14日

# (目次)

## ■ 2023年6月期 1Q累計実績

【連結】 サマリー	P.2~3
【連結】 新店・閉店等の実績	P.4
【国内】 来店客数の回復率実績と回復率想定	P.5~6
【国内】 売上収益の推移	P.7
【海外】 海外の状況	P.8~9
【連結】 PLの増減内訳（前期比）	P.10、P.12~14
【連結】 PLの増減内訳（計画比）	P.15
【連結】 売上収益の推移、営業利益の推移	P.11、P.16
【国内】 退職率の推移	P.17
【国内】 スタイリストの人員状況	P.18

## ■ 重点施策について

P.19~22

## ■ Appendix

P.23~32

PL、BS、キャッシュ・フロー計算書

P.29~31

今期の出店計画

P.32

# エグゼクティブサマリー

## (連結)

- 売上収益は前年同期比10.2%増収の5,568百万円、営業利益は前年同期比41.8%増益の612百万円と回復傾向
- 計画比では、売上収益238百万円増、売上原価102百万円増、販管費はほぼ計画通りとなり、営業利益は計画比115百万円増

## (国内)

- 1Q売上について、第7波によるマイナス影響は、予想より軽微であったため、計画を上振れ
- 出退店について、新店2店舗、閉店8店舗。業務委託店舗等の運営環境改善のため、都心を中心に店舗の統廃合を実施
- 運営形態の変更について、業務受託者と合意解約に至り直轄運営化した店舗は23店舗

## (海外)

- アメリカと台湾の1Q売上・来店客数は、コロナ前の実績を超えるまで回復
- 香港の1Qは、引き続き来店時にワクチンパスポート（2回以上接種の証明）の提示等の営業制限が残っており、回復に遅れが発生

# グループ連結業績（サマリー）

- 2023年6月期1Qは、前期比で売上収益が増大し、利益回復が急伸

## グループ連結業績（サマリー）

単位：百万円	2023年6月期第1四半期		2023年6月期上期予想			2023年6月期通期予想		
	実績	前期比 (%)	予想	前期比 (%)	進捗率	予想	前期比 (%)	進捗率
売上収益	5,568	110.2%	10,700	105.1%	52.0%	21,670	105.4%	25.7%
営業利益	612	141.8%	840	104.4%	73.0%	1,500	107.3%	40.9%
税引前利益	579	147.8%	747	102.7%	77.6%	1,328	106.2%	43.7%
当期利益	394	150.5%	512	103.8%	77.1%	907	105.9%	43.5%
基本的1株当たり 当期利益	30円48銭		39円41銭			69円54銭		
1株当たり配当額	—		—			12円00銭		

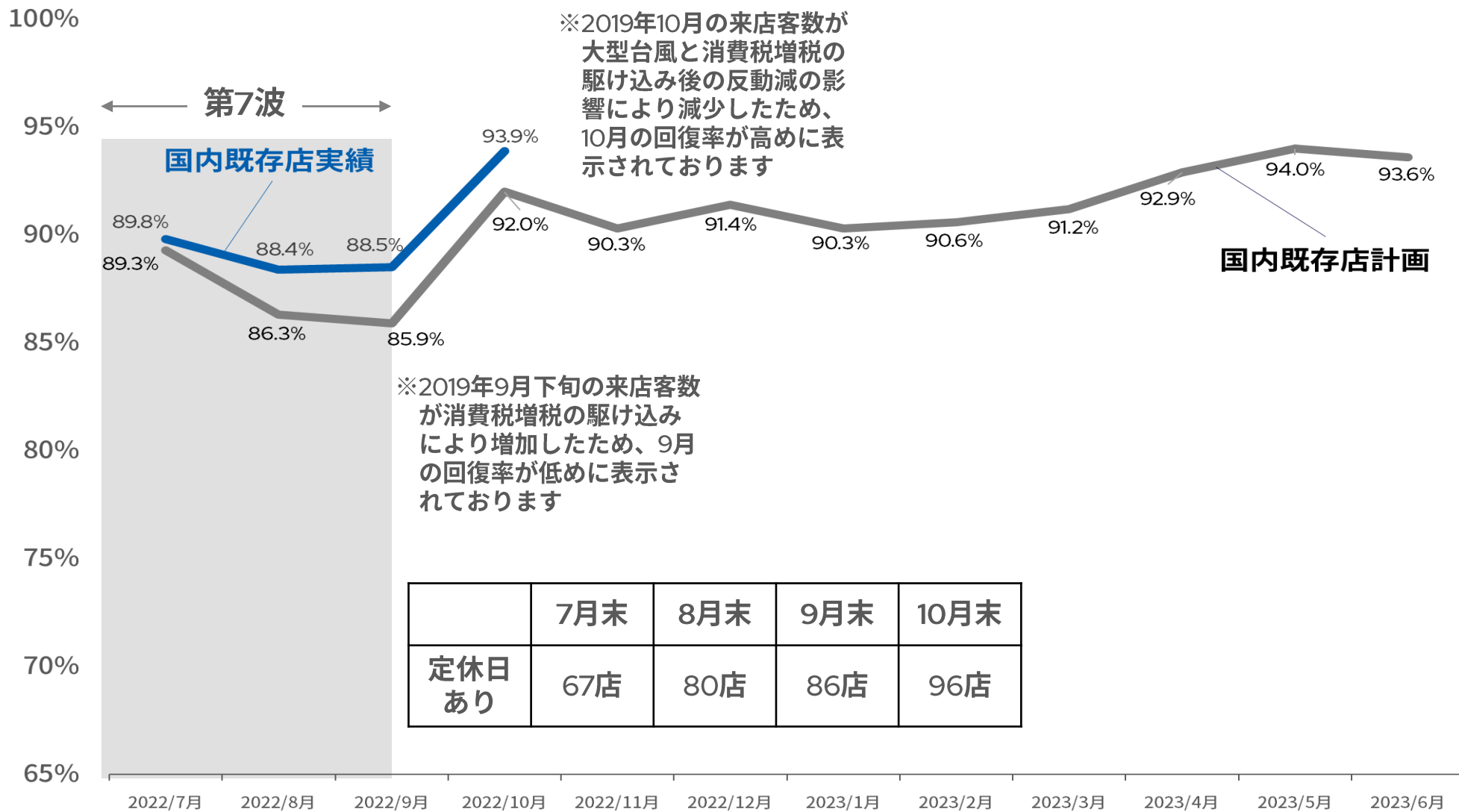
## 【連結】 新店・閉店等の実績

### － 出店を抑制し、国内の労働環境改善策として、都心の店舗を中心に統廃合を実施

単位：店舗	業態	2022/6期末	新店	移転	閉店	増減	第1四半期末
日本	QB HOUSE	576	1	0	△8	△7	569
	QB PREMIUM	4	0	0	0	0	4
	FaSS	11	1	0	0	1	12
国内小計		591	2	0	△8	△6	585
シンガポール	QB HOUSE	22	0	0	0	0	22
	QB PREMIUM	8	0	0	0	0	8
	QB HOUSE Kids	1	0	0	0	0	1
香港	QB HOUSE	64	0	0	△2	△2	62
台湾	QB HOUSE	29	0	1	△2	△1	28
アメリカ	QB HOUSE	5	0	0	0	0	5
海外小計		129	0	1	△4	△3	126
連結グループ合計		720	2	1	△12	△9	711

# 【国内】 既存店来店客数の回復率計画と回復率実績

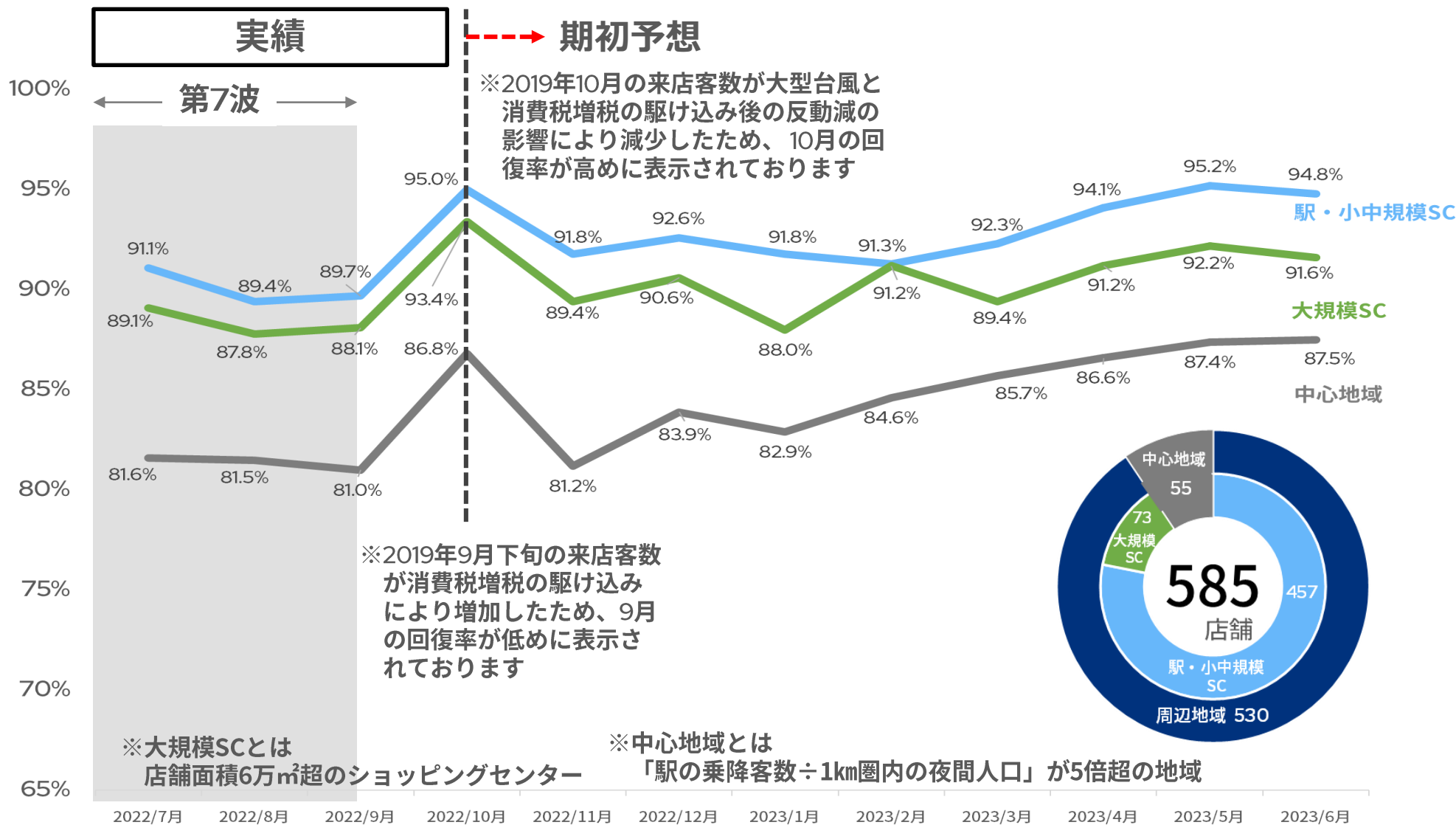
1Qは、第7波の影響を受け休業店舗が増加したものの、その影響は軽微にとどまる



※回復率は、3年前比（コロナ前比）

# 【国内】既存店来店客数（立地別）の回復実績・回復想定

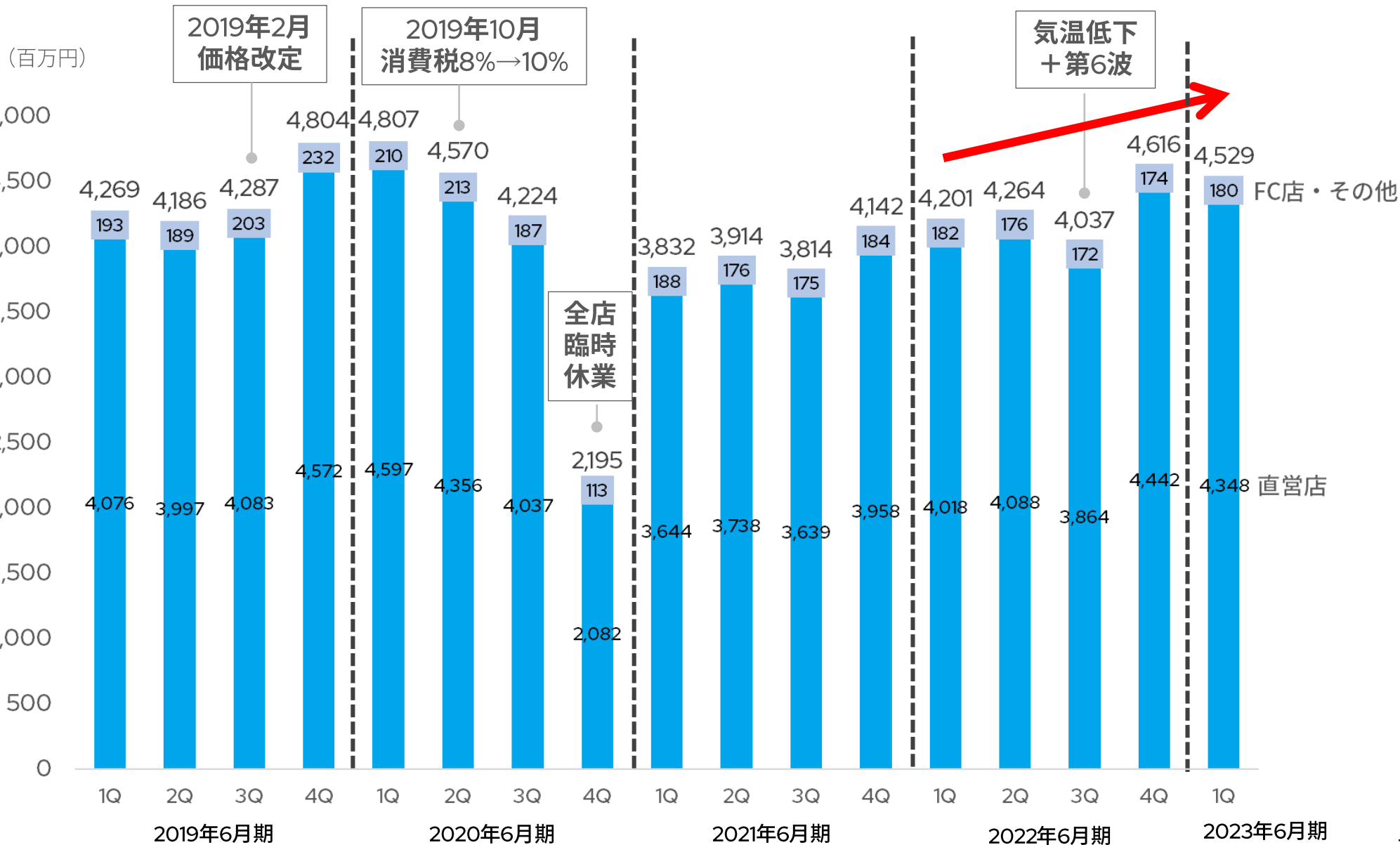
## 立地別の回復率の水準に差異はあるが、大きなトレンドは同じ



※回復率は、3年前比（コロナ前比）

# 【国内】売上収益の推移

- 国内1Qの売上収益について、回復傾向は維持（通常は1Q・4Qが繁忙期）





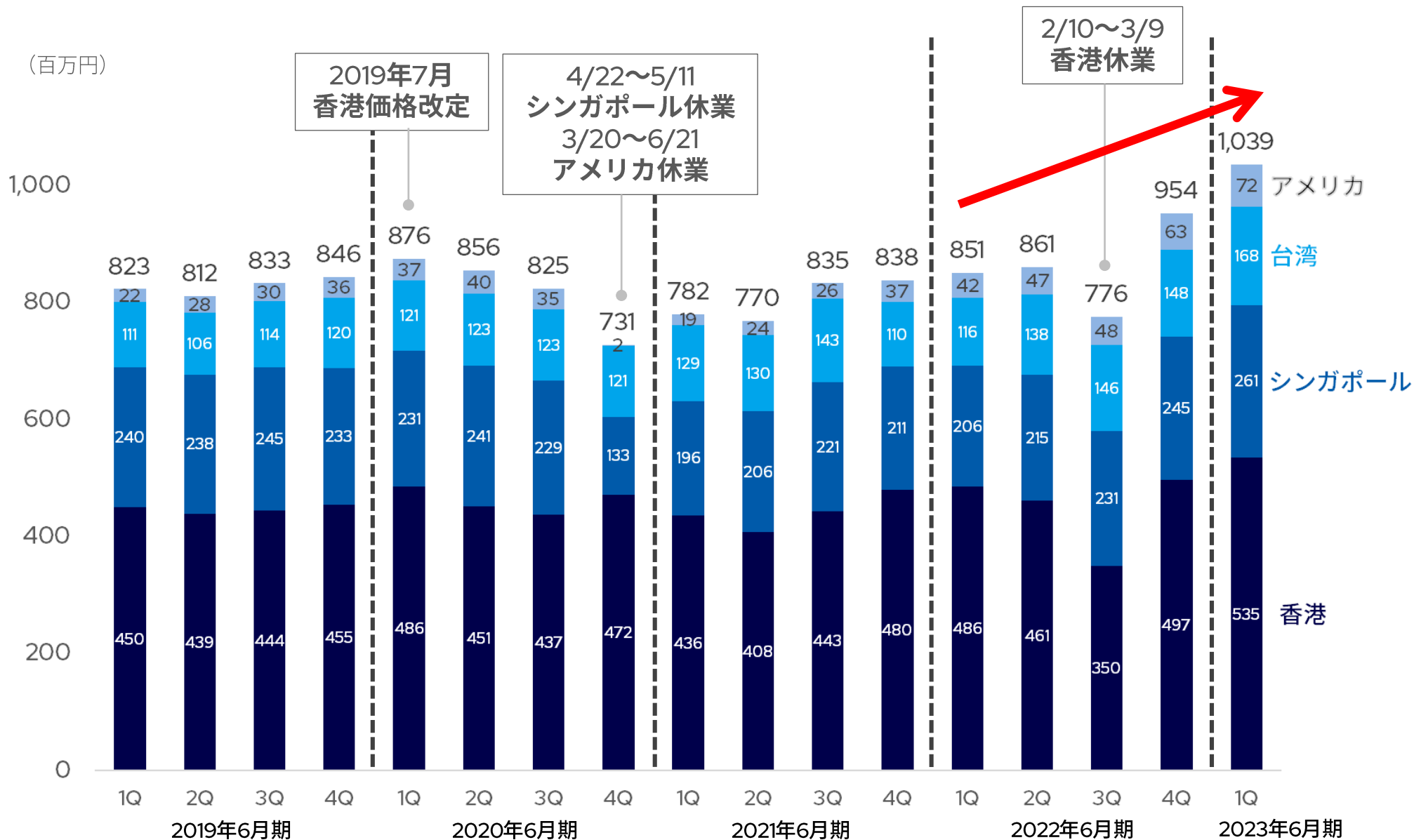
## 【海外】 事業の状況

	売上 1Q コロナ前比	来店客数 1Q コロナ前比	状況
香港	110.1%	85.3%	9月の感染状況は1日4~5千人→9/26より入国時の隔離緩和 ワクチンパスポートで2回以上の接種証明の提示が必要であり、 機会ロスが発生（ワクチンの2回目接種率約92%） 助成金21百万円を1Qに計上
シンガ ポール	113.2%	85.4%	9月の感染状況は1日2~3千人 2022年8月にQB PREMIUM 8店舗の価格改定〔SG\$15（約1,570 円）→SG\$18（約1,880円）、20%アップ〕を実施 2022年10月にQB HOUSE 22店舗の価格改定〔SG\$12（約1,250 円）→SG\$14（約1,460円）、17%アップ〕を実施
台湾	139.4%	105.2%	9月の感染状況は1日40~50千人→10/13より入国制限緩和 日常を取り戻しつつあり、来店客数はコロナ前以上に回復 2022年12月にロジスカットプロフェッショナルスタイリストス クール（研修施設）を立ち上げ予定
アメリカ	191.8%	117.3%	来店客数・売上はコロナ前の過去最高記録を更新中 価格改定〔2020年6月\$20（約2,960円）→\$23（約3,400円）、 2020年11月\$25（約3,700円）〕の影響あり 2022年7月よりオンライン予約を\$30（約4,440円）へ改定

※売上は円単位で比較しているため、円安の影響を含んでおります  
※コロナ前と比較するため、3年前の実績（全店）と比較しております

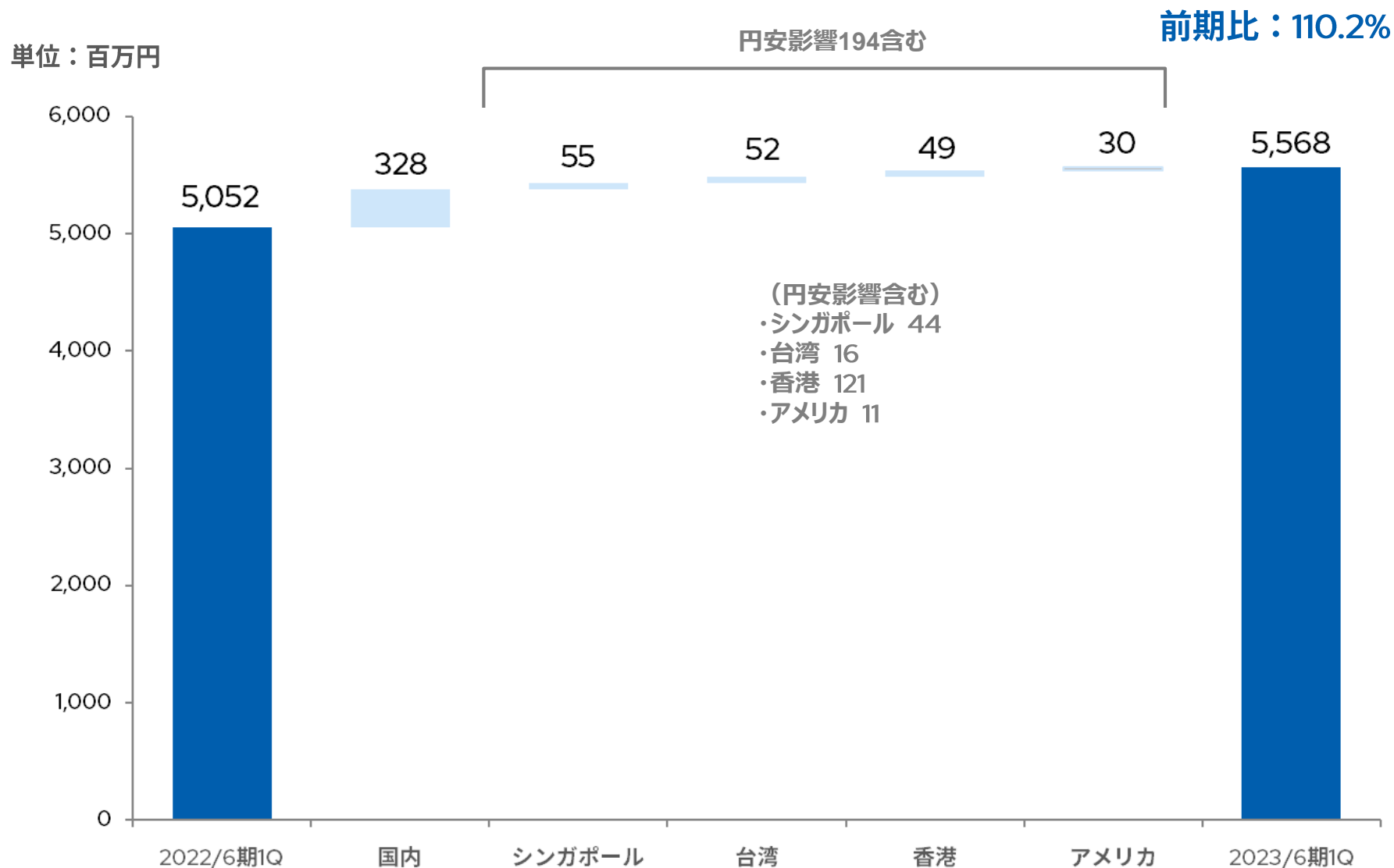
# 【海外】売上収益の推移

海外の1Qの売上は、円安の影響（前期比194百万円増）を含む



## 【連結】売上収益の増減内訳（前期比）

- 売上収益は、国内が第7波の影響を受けつつも回復、海外の円安影響（海外合計194百万円増）も含めて、前期比516百万円の増加

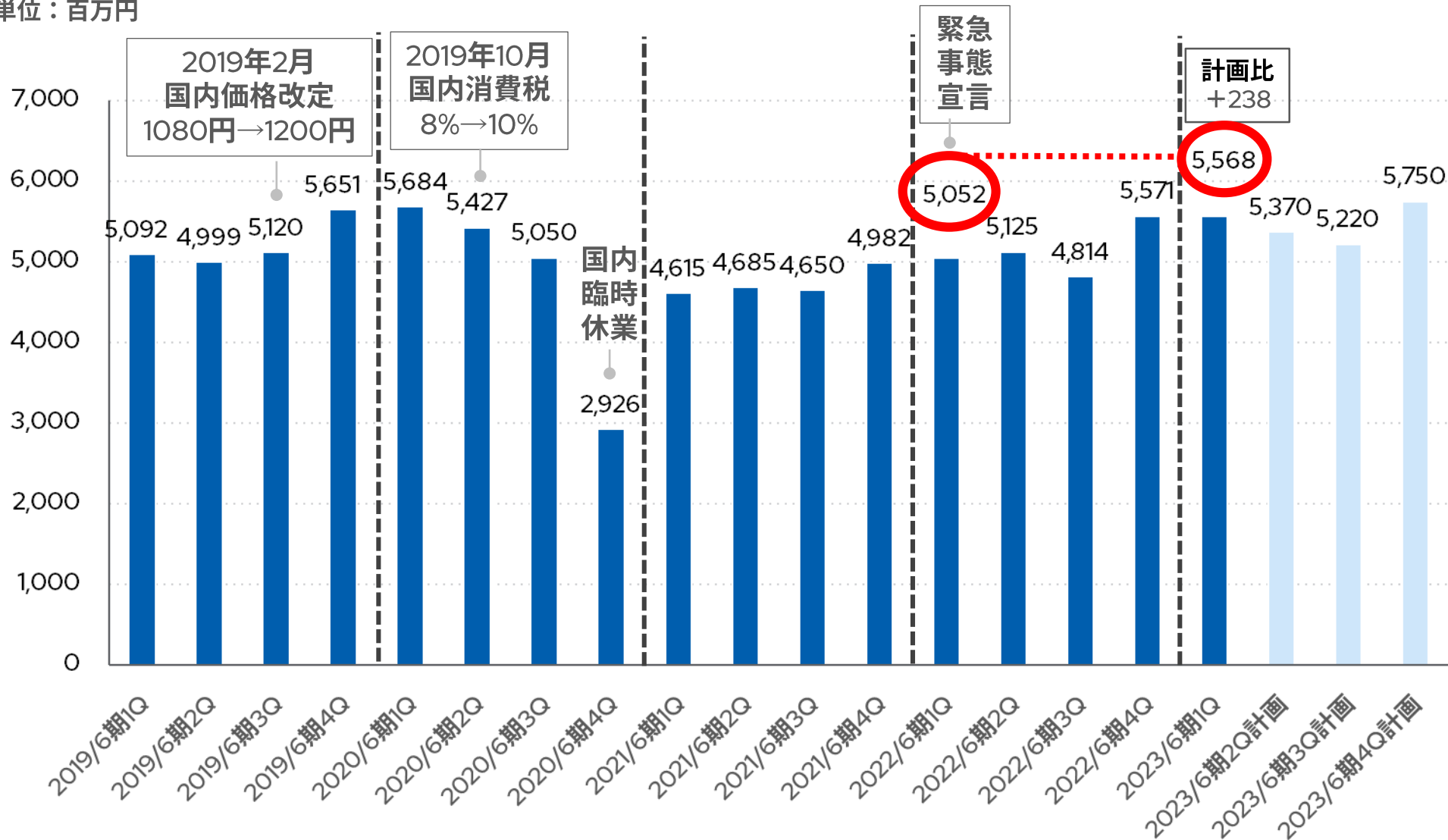


# 【連結】売上収益の推移

実績

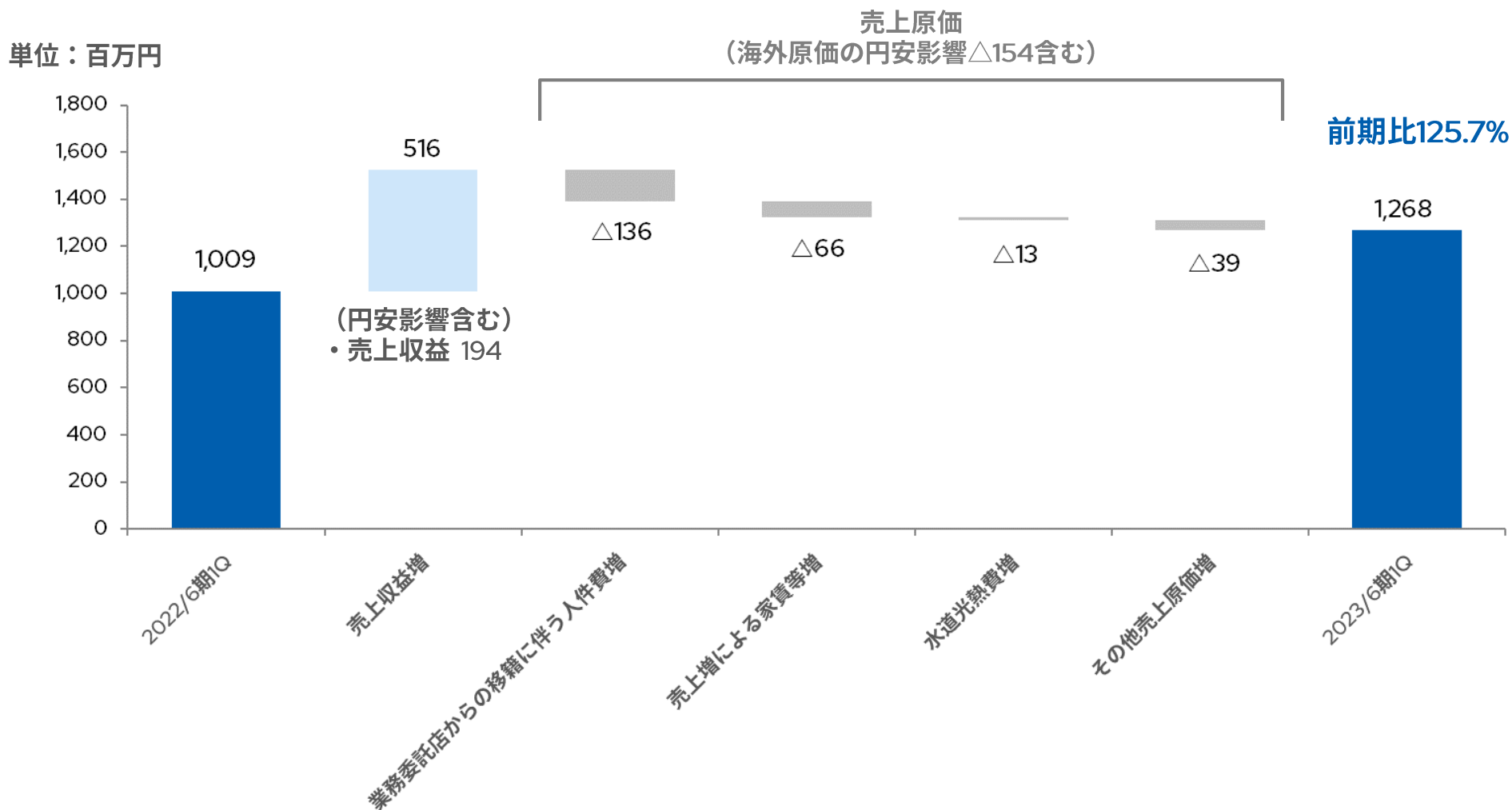
期初予想

単位：百万円



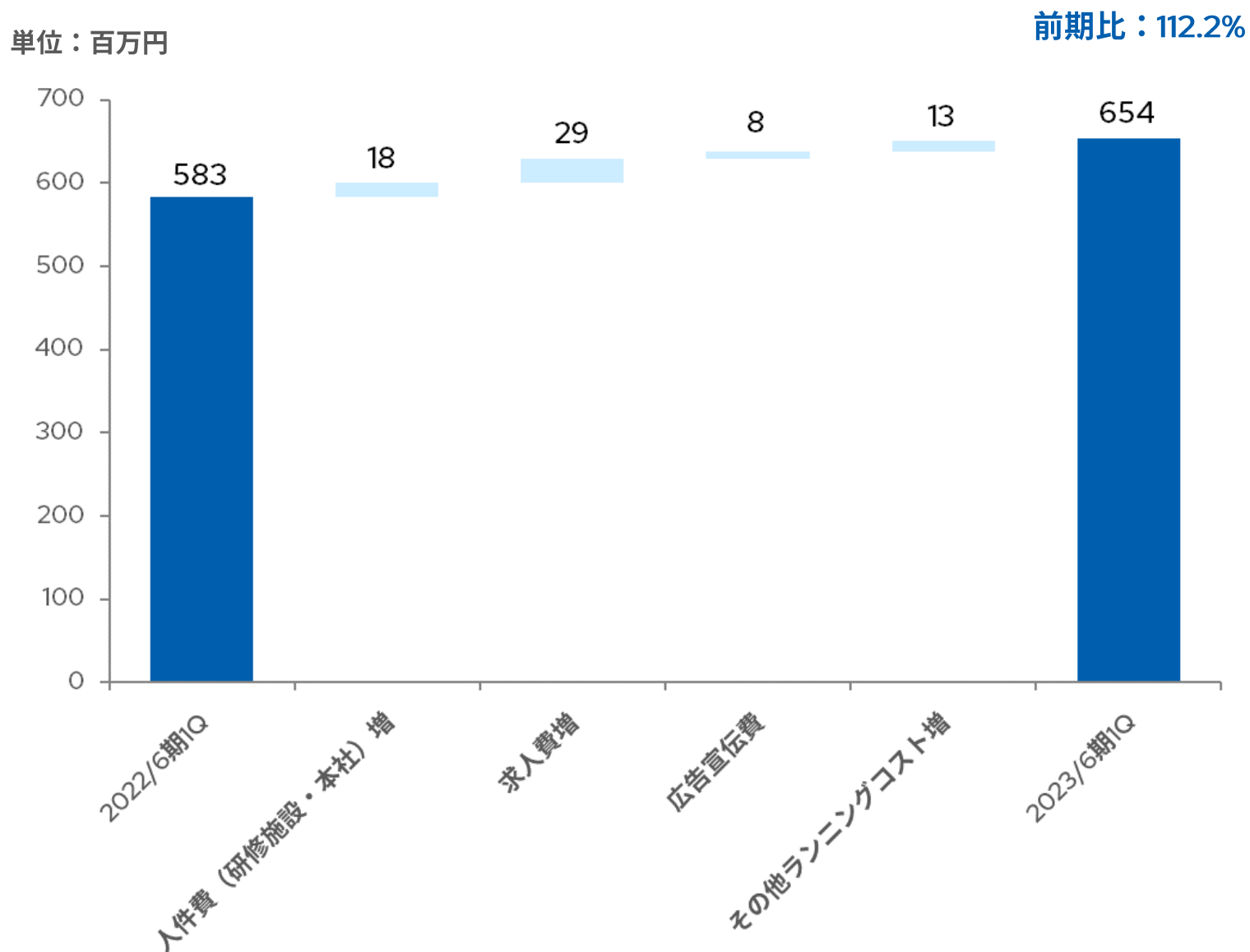
# 【連結】売上総利益の増減内訳（前期比）

粗利は、売上収益増、人件費・家賃・電気代増等により、前期比259百万円増加



## 【連結】 販管費の増減内訳（前期比）

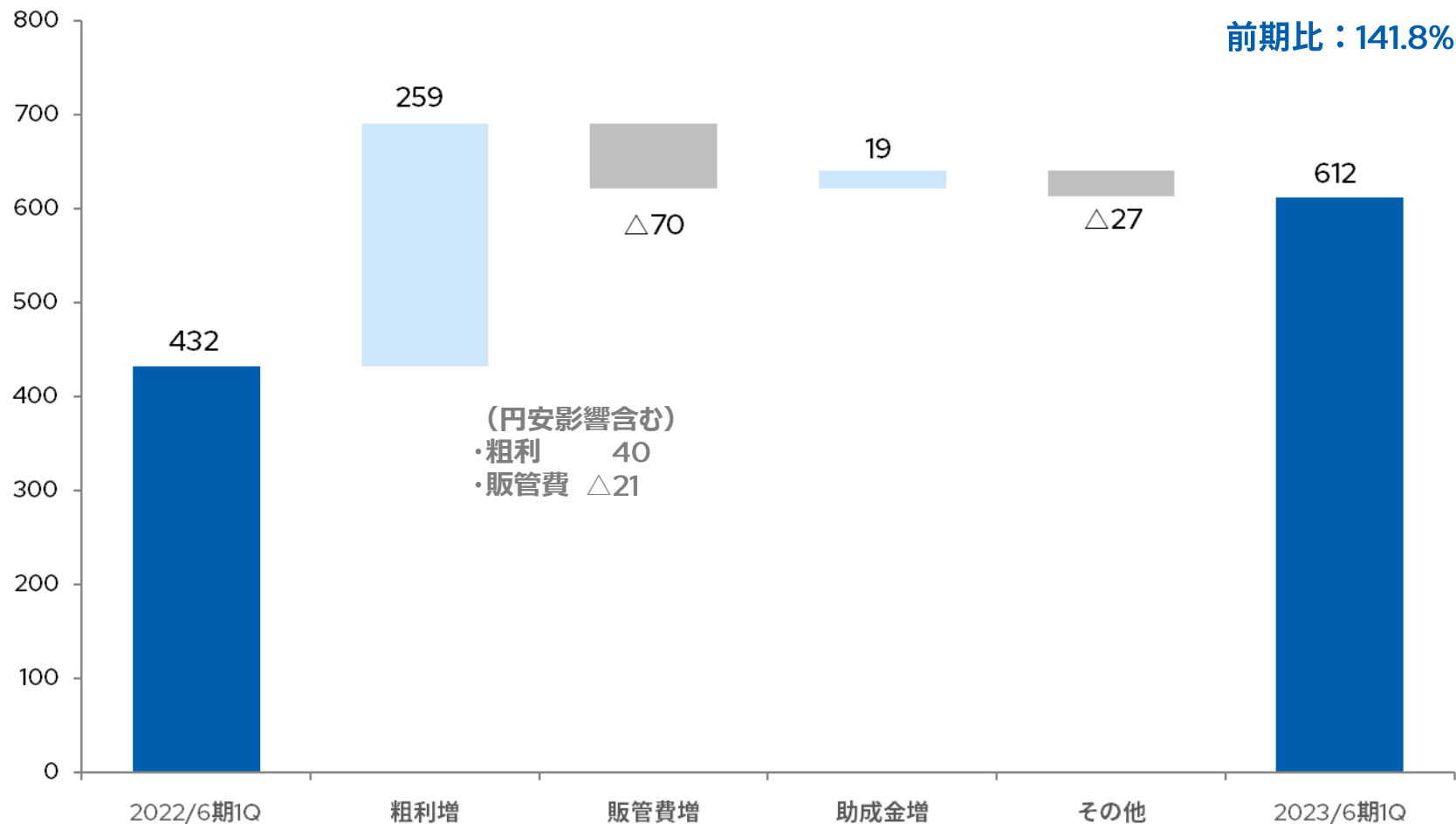
- 販管費は、広告宣伝費（販促）や求人費等の増加により、前期比70百万円増（円安影響21百万円増を含む）



## 【連結】 営業利益の増減内訳（前期比）

- 営業利益は、販管費が増加したものの、粗利の増加等により、前期比180百万円増

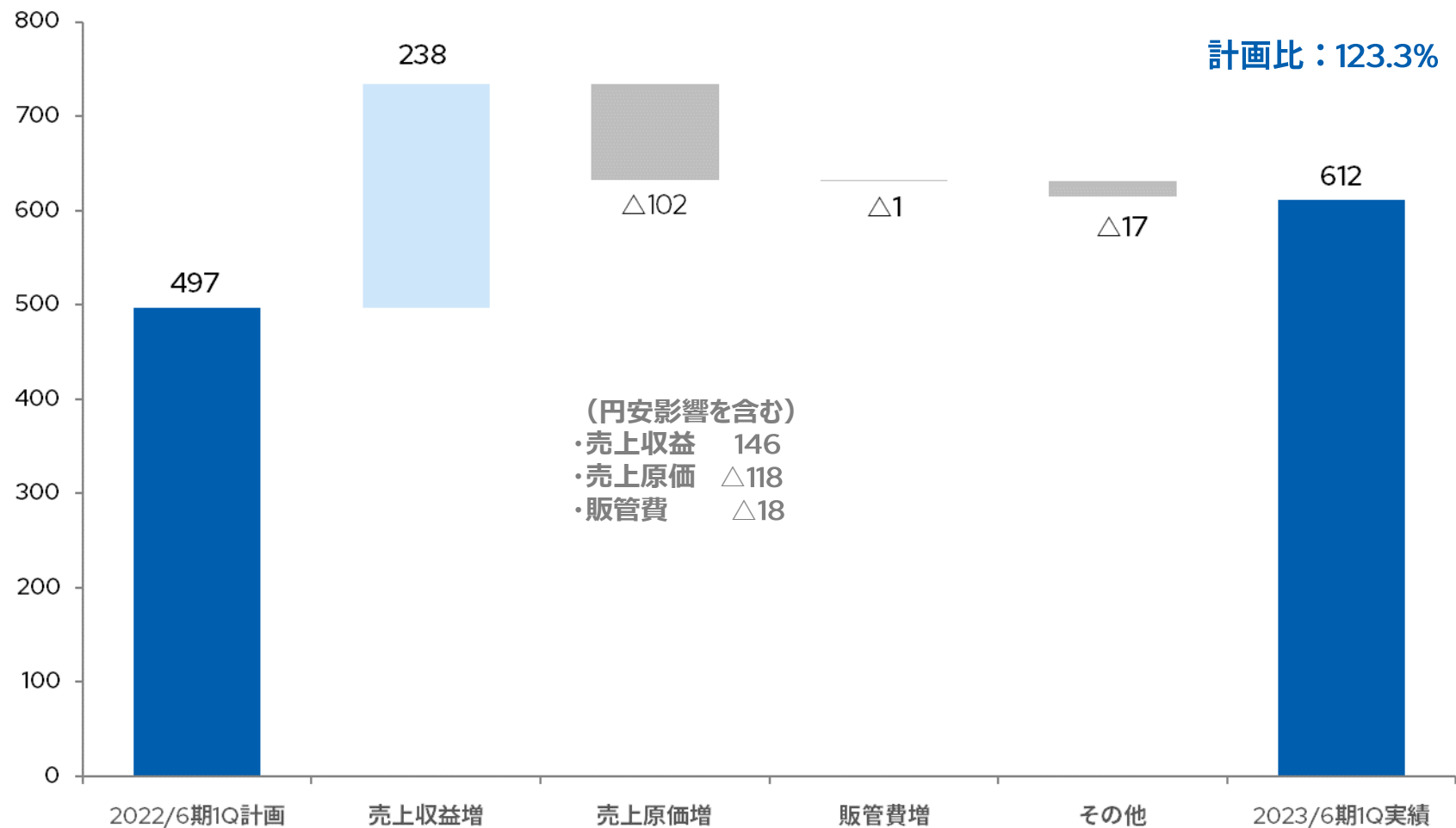
単位：百万円



# 【連結】参考：営業利益の増減内訳（計画比）

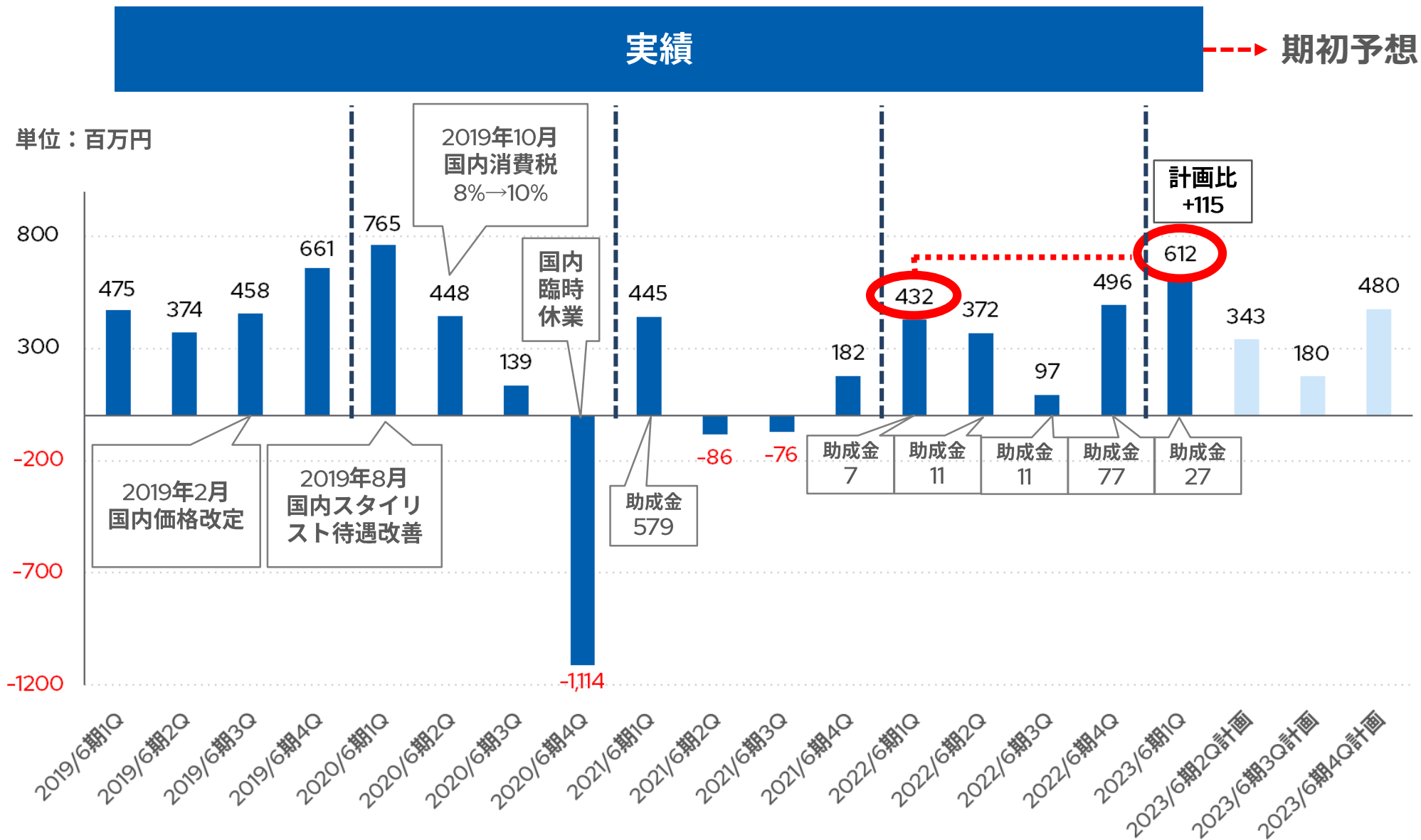
— 営業利益は、主に売上の回復により、計画比115百万円増

単位：百万円





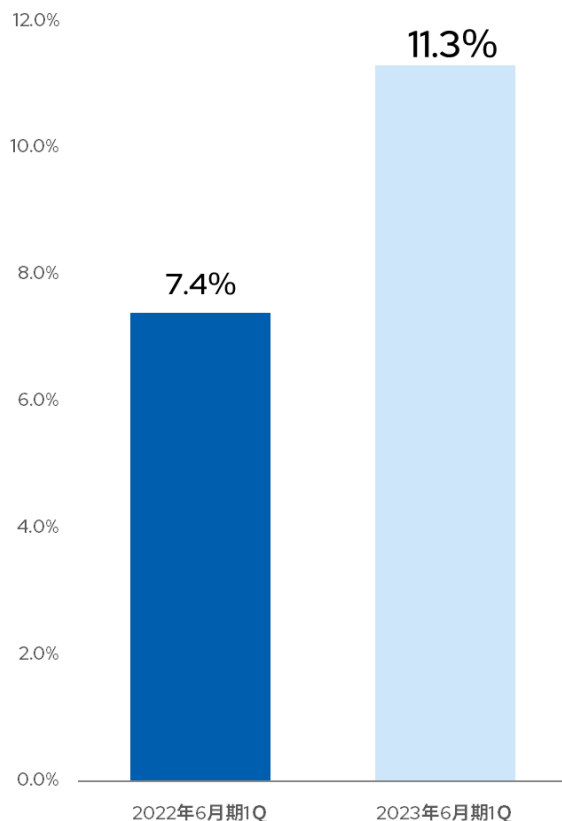
# 【連結】 営業利益の推移



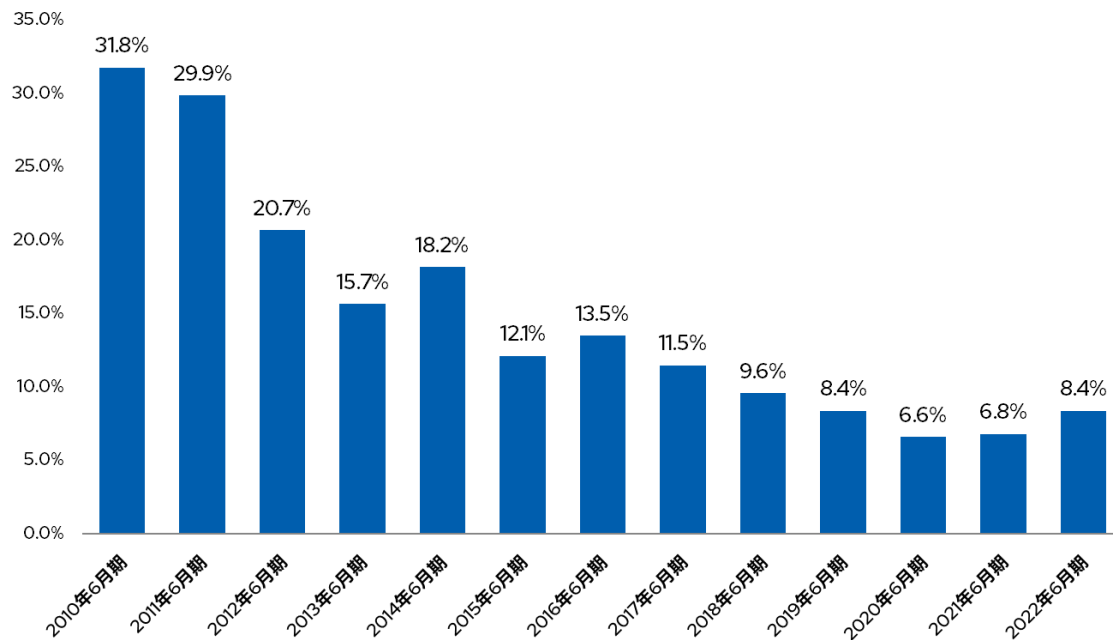
# 【国内】スタイリスト（正社員）の退職率の推移

- 国内正社員の1Qの退職率は、年率換算で11.3%（前期比3.9%ポイント増）

## 国内正社員の1Qの退職率（年率換算）



## 【参考】国内正社員の退職率の推移（年間実績）

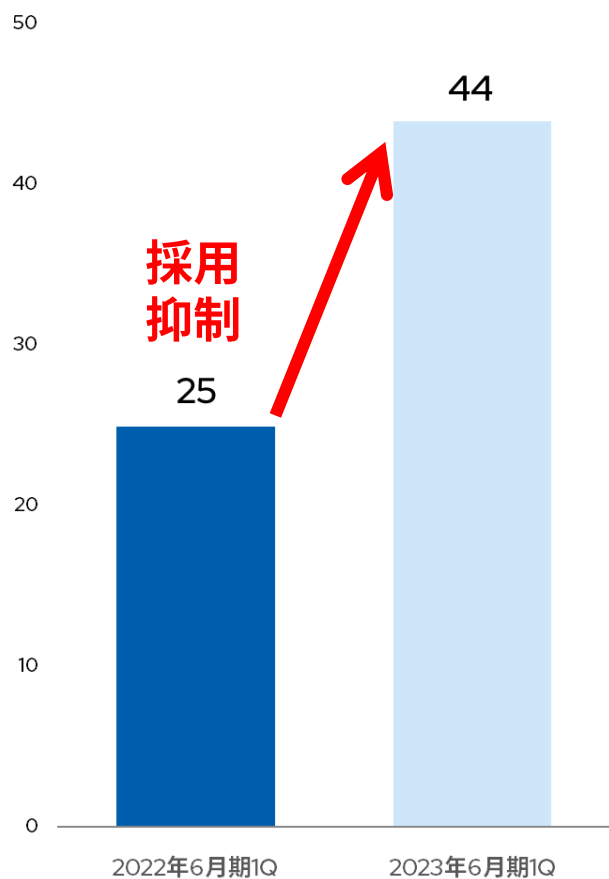


※本社は除く  
※研修施設（ロジスカットプロフェッショナルスタイリストスクール）含む

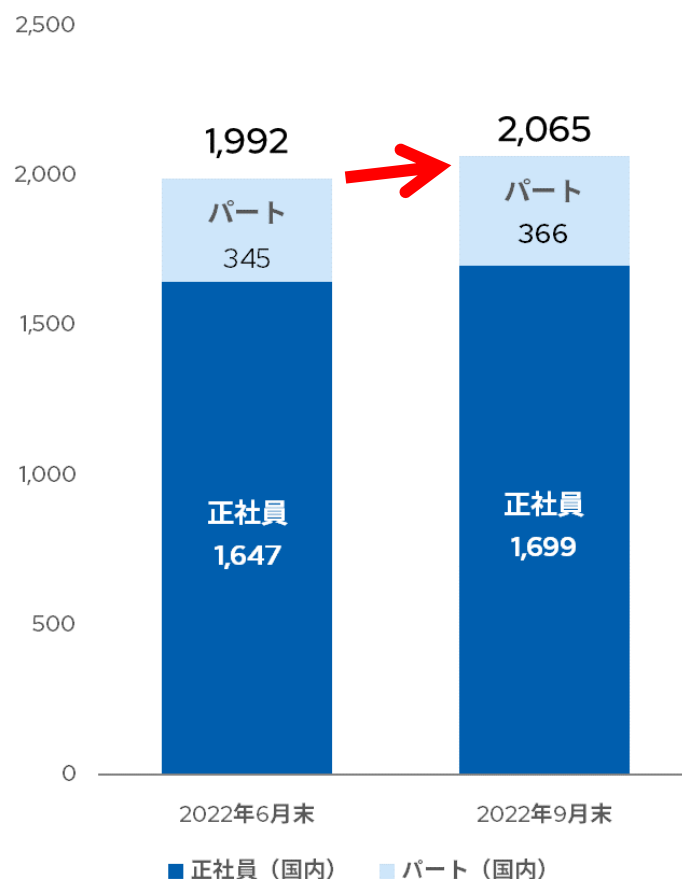
# 【国内】スタイリストの人員状況

- 国内正社員の1Qの採用数（移籍を除く）は、44人（前期比+19人）
- 従業員数は、業務委託店舗の直轄化によるスタイリストの移籍もあり、2022年6月末比+73人

単位：人 国内正社員の1Qの採用数



単位：人 2022年9月末の国内従業員数



※業務委託先店舗からの正社員の移籍を除く。  
本社は除く。研修施設（ロジスカットプロフェッショナルスタイリストスクール）含む

※業務委託先店舗からの移籍を含む。  
本社は除く。研修施設（ロジスカットプロフェッショナルスタイリストスクール）含む

# 今後の事業KPIについて

- 既存店の客数減少を他の項目で補い、**コロナ前の利益水準以上を目指す**



# シンガポールの価格改定

- 約10年振り（前回2012年12月）にシンガポールの価格改定を実施

シンガポールの価格改定			
2022年8月	QB PREMIUM 8店舗	SG\$15 (1,570円) ↓ SG\$18 (1,880円)	20% アップ
2022年10月	QB HOUSE 22店舗	SG\$12 (1,250円) ↓ SG\$14 (1,460円)	17% アップ

サンテックシティ店 (Suntec City)



ブギスジャンクション店 (Bugis Junction)



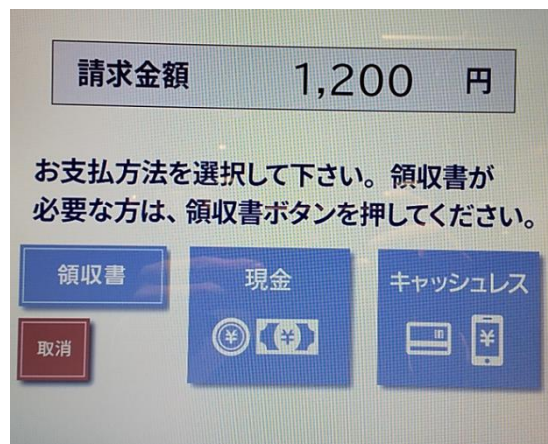
※為替レートは11月4日時点

# 新券売機の導入

堂島アバンザ店



支払いの画面



## ➤ 2店舗でテスト導入開始



- キャッシュレス対応
- ソフトウェア変更で、柔軟な価格設定も可能
- 新紙幣対応  
新紙幣発行の2024年  
4～9月迄に順次入替  
予定

# QB PREMIUM

新百合丘オーパ店（4号店：2022年5月27日オープン）



MAGNET by SHIBUYA109店（5号店：2022年10月3日オープン）



# QB PREMIUM

価格

¥1,650（税込）

お支払

レジ決済、キャッシュレス

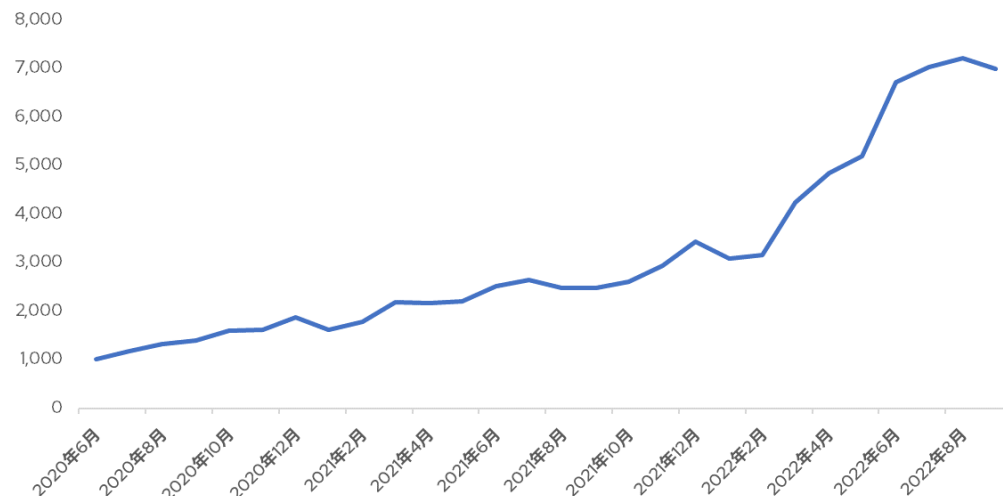
サービス

カット&スタイリング

アプリ予約、カットカルテ

（単位：人）

QB PREMIUM（4店舗合計）の来店客数



# Appendix

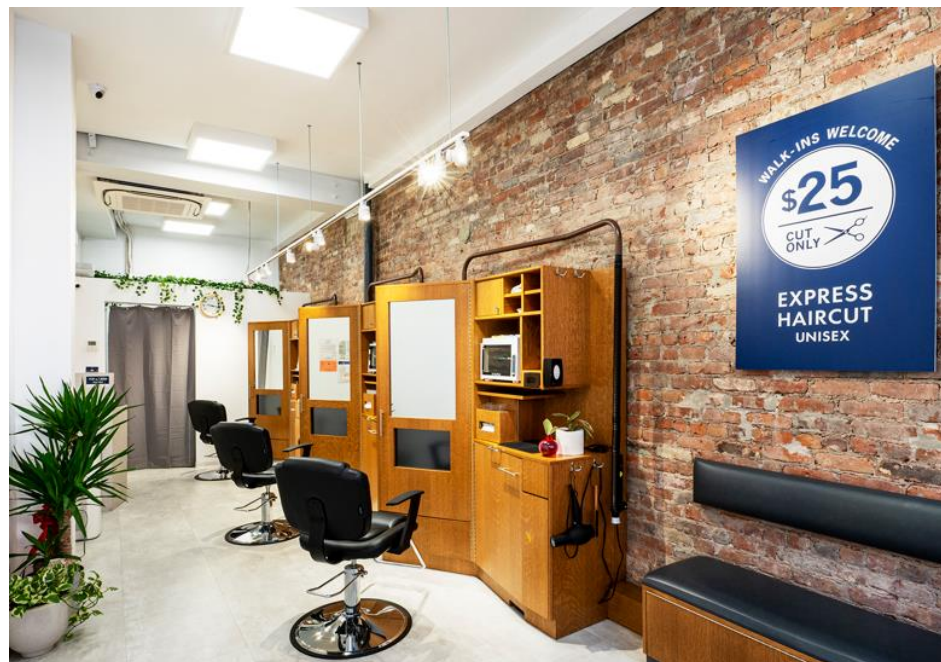


# ニューヨーク (5店舗出店)

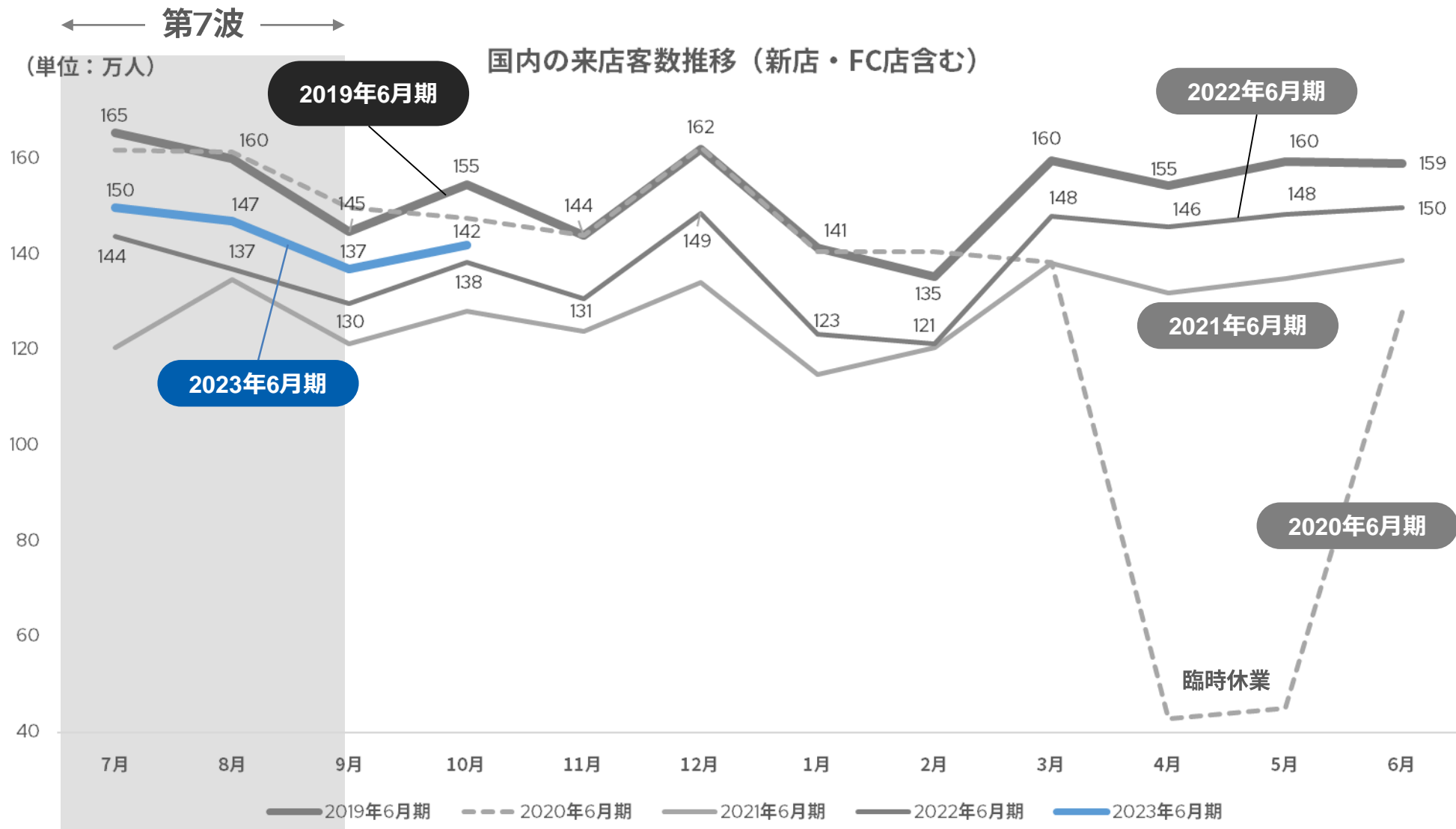
立地(ニューヨーク)



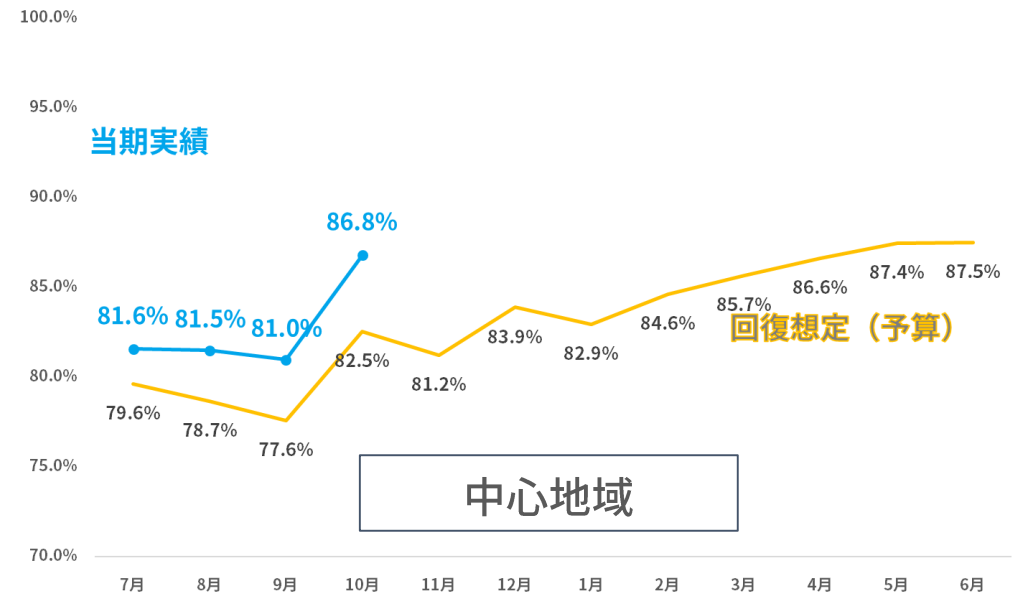
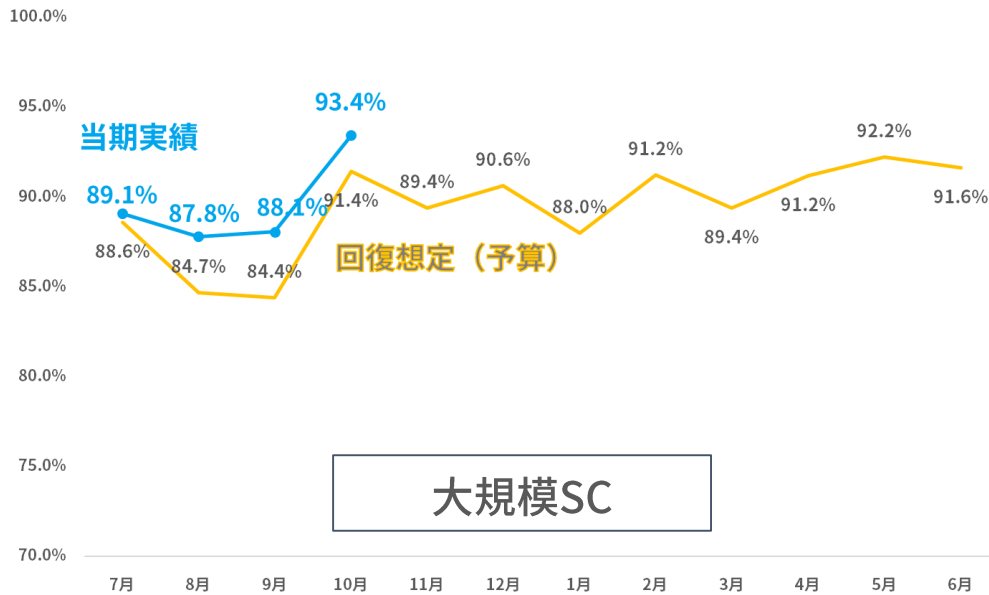
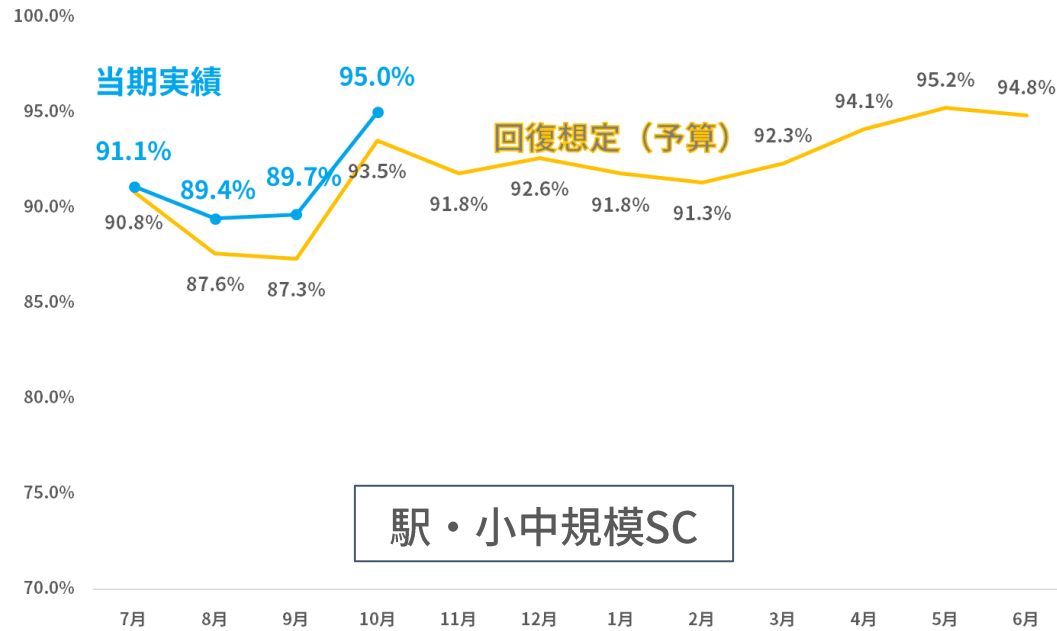
WEST VILLAGE店 (5号店：2021年12月31日オープン)



# 【国内】来店客数の推移



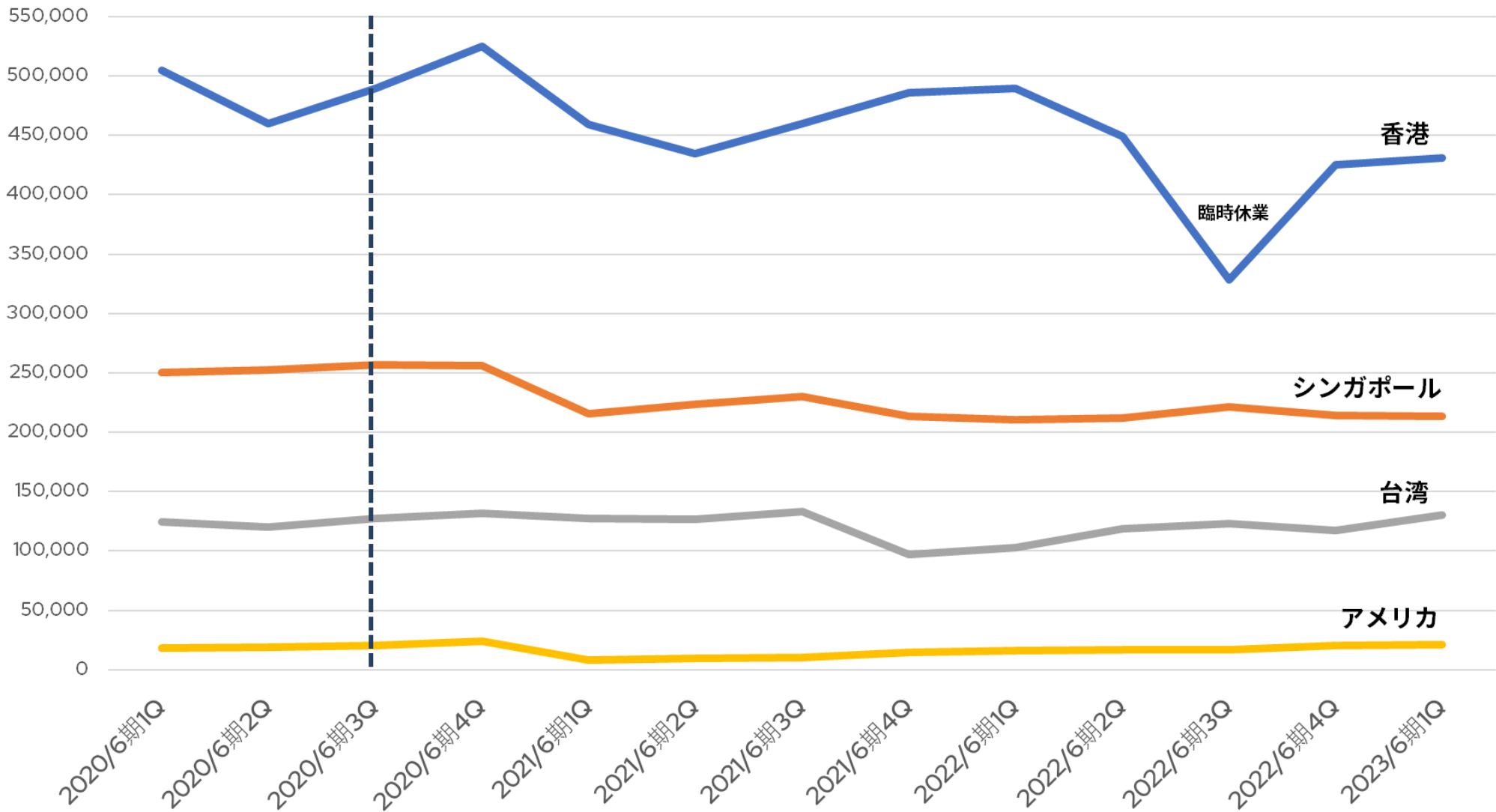
# 【国内】来店客数の回復想定と実績（既存店）



# 【海外】来店客数の推移

(単位：人)

## 海外の来店客数推移（四半期毎）



## 参考：価格改定（単価）の過去実績

価格改定（税込）の過去実績	
国内	(QB HOUSE) ・ 2014年4月：1,000円→1,080円（65歳以上かつ平日1,000円） ・ 2019年2月：1,080円→1,200円（65歳以上かつ平日1,100円） ・ 2022年3月：シニア価格1,100円の終了
シンガポール	・ 2012年12月：10ドル（約1,050円）→12ドル（約1,250円） ・ 2022年8月：QB PREMIUM 15ドル（約1,570円）→18ドル（約1,880円） ・ 2022年10月：QB HOUSE 12ドル（約1,250円）→14ドル（約1,460円）
香港	・ 2014年7月：50ドル（約940円）→60ドル（約1,130円） ・ 2019年7月：60ドル（約1,130円）→70ドル（約1,320円）
台湾	・ 300元（約1,380円）
ニューヨーク	・ 2020年6月：20ドル（約2,960円）→23ドル（約3,400円） ・ 2020年11月：23ドル（約3,400円）→25ドル（約3,700円） ・ 2022年7月：オンライン予約のみ30ドル（約4,440円）

# グループ連結業績概要

## 連結損益計算書

単位：百万円	2022/6期1Q		2023/6期1Q			
	実績	売上比	実績	売上比	増減額	前期比
売上収益	5,052	100.0%	5,568	100.0%	516	110.2%
売上原価	△ 4,043		△ 4,299		△ 256	106.3%
売上総利益	1,009	20.0%	1,268	22.8%	259	125.7%
その他の営業収益	10 ※助成金7		37 ※助成金27		26	
販売費及び一般管理費	△ 583		△ 654		△ 70	112.2%
その他の営業費用	△ 4		△ 39		△ 34	
営業利益	432	8.6%	612	11.0%	180	141.8%
金融収益	3		4		0	120.2%
金融費用	△ 43		△ 37		6	85.6%
税引前利益	392	7.8%	579	10.4%	187	147.8%
法人所得税費用	△ 129		△ 185		△ 55	142.5%
当期利益	262	5.2%	394	7.1%	132	150.5%

# グループ連結業績概要

## 連結財政状態計算書

単位：百万円	2022/6期 4Q末	2023/6期 1Q末	増減額	
<b>流動資産合計</b>	<b>4,912</b>	<b>4,707</b>	<b>△ 205</b>	
現金及び現金同等物	3,724	3,540	△ 183	● 主に納税影響 平常時より手元資金を厚めに保有 (平常時の手元資金は20億円程度)
営業債権及びその他の債権	915	793	△ 121	
棚卸資産	92	160	68	
その他	181	211	30	
<b>非流動資産合計</b>	<b>24,823</b>	<b>24,718</b>	<b>△ 104</b>	
有形固定資産	1,360	1,319	△ 41	
使用権資産	5,116	5,030	△ 86	
のれん	15,430	15,430	-	
その他の金融資産	1,937	1,954	17	
繰延税金資産	748	753	5	
その他	230	231	1	
<b>資産合計</b>	<b>29,736</b>	<b>29,426</b>	<b>△ 309</b>	
<b>負債合計</b>	<b>18,348</b>	<b>17,692</b>	<b>△ 655</b>	
営業債務及びその他の債務	235	244	8	
有利子負債	10,147	9,976	△ 170	● 借入金約定返済 (△175百万円)
リース負債	5,197	5,109	△ 88	
その他	2,768	2,362	△ 405	● 主に法人所得税等支払い
<b>資本合計</b>	<b>11,387</b>	<b>11,733</b>	<b>345</b>	
<b>負債及び資本合計</b>	<b>29,736</b>	<b>29,426</b>	<b>△ 309</b>	

# グループ連結業績概要

## 連結キャッシュ・フロー計算書

単位：百万円

	2022/6期1Q	2023/6期1Q	増減額
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>1,027</b>	<b>841</b>	<b>△ 185</b>
税引前利益	392	579	187
減価償却費及び償却費	787	816	28
営業債権及びその他の債権の増減額（△は増加）	27	165	138
利息の支払額	△ 39	△ 29	10
助成金の受取額	7	27	19
法人所得税の支払額	△ 38	△ 448	△ 409
その他	△ 108	△ 269	△ 161
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△ 84</b>	<b>△ 93</b>	<b>△ 8</b>
有形固定資産の取得による支出	△ 68	△ 73	△ 4
無形資産の取得による支出	△ 2	△ 15	△ 12
その他	△ 13	△ 4	8
<b>フリー・キャッシュ・フロー</b>	<b>943</b>	<b>748</b>	<b>△ 194</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△ 805</b>	<b>△ 985</b>	<b>△ 179</b>
短期借入金の純増減額（△は減少）	-	-	-
長期借入金の返済による支出	△ 175	△ 175	-
配当金の支払額	△ 0	△ 130	△ 130
リース負債の返済による支出	△ 656	△ 702	△ 45
その他	26	22	△ 3
<b>現金及び現金同等物に係る換算差額</b>	<b>9</b>	<b>53</b>	<b>44</b>
<b>現金及び現金同等物の増減額（△は減少）</b>	<b>146</b>	<b>△ 183</b>	<b>△ 329</b>
<b>現金及び現金同等物の当期末残高</b>	<b>4,748</b>	<b>3,540</b>	<b>△ 1,207</b>

● 課税所得の増加に伴うもの



# 参考：今期の出店計画

## 2023年6月期の新店・閉店の計画

単位：店舗	業態	2022/6期末	新店	閉店	増減	2023/6期末
日本	QB HOUSE QB PREMIUM	580	15	△22	△7	573
	FaSS	11	2	0	2	13
国内小計		591	17	△22	△5	586
シンガポール	QB HOUSE QB PREMIUM Kids	31	1	0	1	32
香港	QB HOUSE	64	3	0	3	67
台湾	QB HOUSE	29	4	△1	3	32
アメリカ	QB HOUSE	5	1	0	1	6
海外小計		129	9	△1	8	137
連結グループ合計		720	26	△23	3	723

(※) 新店数・閉店数は移転に伴う出店・閉店を含む

本プレゼンテーション資料は、当社及びその子会社の関連情報の開示のみを目的として作成したものであり、売買の勧誘を構成するものではありません。

本プレゼンテーション資料に記載されている将来予想に関する記述は、当社が現在入手可能な情報を勘案した上での、当社の現時点における仮定及び判断に基づくものであり、既知及び未知のリスク、不確実性その他の要因を含んでいます。当該リスク、不確実性その他の要因により、当社の実際の業績又は財務状態が、将来予想に関する記述により表示又は示唆されている将来の業績又は財務状態から大きく乖離する可能性があります。



**QBHOUSE**  
GLOBAL



QBハウスの  
訪問理美容サービス

